

1 第5次あきる野市男女共同参画プランの策定方針について

- 「第5次プランの策定に当たり検討を要する事項」について、方針決定前に配付された資料の「検討すべき個別事項」に掲げられていたいくつかの項目が削られているが、類似するものとまとめているのか。または、方針策定の際に検討項目から外されたのか。例えば、「同性パートナーシップ制度など～」「意思決定の場等に携わる女性を増やすための～」など

→「同性パートナーシップ制度」につきましては、「イ LGBT等の性的マイノリティに関する理解促進等について」に含んでおります。

現在、東京都はパートナーシップ制度の導入を検討していると聞いております。東京都の動向等を注視し、制度の導入につきましては、今後、慎重に検討を進める必要があります。

「意思決定の場等に携わる女性を増やすための～」につきましては、「オ 政治分野における男女共同参画の推進について」「ウ 審議会等の女性委員の割合の更なる上昇について」に含まれております。

- 国の第5次男女共同参画基本計画に記されている地域課題（第3分野など）についてもあきる野の施策に具現化できると良い。「女性農林水産業者の活躍推進」はご当地課題だと思う。計画期間が3年間から5年間に延びるので、今は時期尚早と思えることも思い切って行ってほしい。
- 「1 策定の背景及び趣旨」の文末「具体的かつ実行性のある推進計画として策定する」に賛同する。男女共同参画の視点で、具体的で分かりやすい施策となり、それに見合った事業計画となることを期待する。
- 第4次までの参画プランの実施で「男女共同参画」への認知度は3割弱である。もっと、認知度を高める必要があると思う。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、DVや就業困難者の増加が懸念される。第4次プランで効果があった施策については継続し、あまり効果がなかったものについては見直す必要がある。
- 第5次プランの策定検討事項の一つに理工系女性人材の育成とあるが、それはデジタル社会への対応の一環としてデジタル分野の人材の育成も含むと考えて良いのか。  
→国の第5次男女共同参画基本計画に、「科学技術・学術における男女共同参画の推進」が盛り込まれており、「Society 5.0の実現に向けてAIやIoT等のIT分野の教育を強化する。」とされています。主に女性の科学技術人材の育成を意味するところではありますが、市として取組可能かどうか、国の動向を注視してまいります。
- 計画期間が5年ということで、プランの進捗管理をどれくらいの頻度で行うのか、社会情勢を考慮しつつもPDCAサイクルは回していけるようにしたいと思う。
- 第4次プランではあきる野市が目指す姿において「配偶者等～」となっていた文言が変更され、様々な立場や環境、状況を想定されていると感じた。

- 「4 基本理念」と「5 基本目標」を分けて記載するのはどのような意味からか。  
→基本理念につきましては、4つの基本目標全てに通じる考えであり、計画策定に当たっては、基本理念の下に基本目標を設定しております。  
今回お示した策定方針につきましては、第4次プランを基に作成したものであり、基本理念の内容についても第5次プランの策定に合わせて変更する可能性があります。今後、策定を進めるに当たり、基本理念と基本目標の互いの意義が分かりやすい形で設定できるよう、検討してまいります。
- 男女参画という意味の中には性別だけでなく年齢にもとらわれることなく考えなければならないと思う。若いからまだ参画しない、年だからもうできないというような取り残しのない社会を目指してほしい。
- 流れの加速する現代において、新たな課題が続々と出る。これに対応できるようにお願いします。
- 第4次プランの2本市の現状(2)女性相談、母子相談及び父子相談について、相談件数が減少傾向にあるとのことだが、対人口割合も視点として重要と思う。人口に応じて市内の様子がどうなっているか示すことは「市の暮らしやすさ、相談しやすさ」を同時に示せるのでは。

## 2 策定スケジュールについて

- 8月に第5次プラン案が取りまとめられた後、10月の市民会議による「確認等」と推進本部の「決定」はどちらが先か。  
→市民会議においてプラン案を確認いただいた後、推進本部において決定いたします。
- 同じく令和4年2月の「パブコメによる計画案の修正」「確認等」「決定」の時系列はどうなっているのか。  
→事務局においてパブリックコメントの意見をまとめ、意見に沿った修正等を加えた後、市民会議において修正案を確認いただき、推進本部において計画を決定いたします。

## 3 その他